

令和5年度
北海道大学 大学院法学研究科 法律実務専攻
(法科大学院)

入学者選考試験【前期日程】
「小論文試験」問題冊子

試験時間 : 13:00~15:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. 問題冊子は5ページある。
3. 解答用紙は、B4版で、小論文【問題1】 (両面印刷)、小論文【問題2】 (両面印刷) の2枚である。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出せよ。
5. 受験番号 (上下2箇所) および氏名 (上1箇所) は、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入せよ。
6. 解答は、すべて所定の解答用紙の指定された欄に横書きで記入せよ。
7. 解答は、黒インクのボールペン又は万年筆 (ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。) で記入せよ。
8. 必要以外のことを解答用紙に書いてはならない。
9. 問題冊子の余白は下書きに使用してもさしつかえない。
10. 草稿用紙は回収しない。

次の文章を読んで、問題に答えなさい。

(文章省略)

出典：毛利透「立憲主義の変容」論究ジュリスト 38号（2022年）

（但し、出題に際して、文章の一部を省略・変更した）

問題1 下線部①「デジタル時代における言論の民主化の皮肉は、それがまさしくコントロールと監視のこのような実践を招いたことである」とはどういうことか、700字以内で説明しなさい。

問題2 下線部②「ソーシャルメディアに対し、自分たちが情報の生産者ではないとしても、そこを流れる情報の質について一定の水準を保つよう義務づけ、同時に情報流通についての専門家として、国家権力からの一定の独立性をも確保するよう求める」について、あなたの考えを、具体例を示しつつ、700字以内で自由に論じなさい。